

今日の給食は、野菜コロッケ（パックソース）、すき焼き煮、いよかん、ごはん、牛乳でした。「慣れ」とは不思議なもので、この頃は、実家の母から手料理をふるまわれたときに、なんとなく味付けが「いつもと違うな」と感じるようになりました。わたくしの味覚が変化したのか、はたまた母親の味付けが変わったのかは定かではありませんが、少なくとも「我が家の味」に慣れてしまったようです。嬉しいような、ちょっと寂しいような…。母の料理で好きなものはいろいろとあるのですが、コロッケは大好きでした。具は、茹でたジャガイモ、細かく切ったニンジン、玉ねぎ、挽肉（チャーハンに入っているような少し大きめの肉が入ることもあった）といったいたってシンプルなものでした。ちょっと厚めに手で形を整え、カラッと揚げます。揚げたてをそのまま食べてもよし、冷めてもうまし。今でも時々、大量にこしらえて我が家に持ってきてくれることがあるのですが、子供たちも大好きです。本日の給食には「野菜コロッケ」が登場しました。ご飯のおかずにもいいですが、ちょっと小腹がすいた時のおやつにつまむのもいいですね。ところで、コロッケの王様は、やはり「カニクリームコロッケ」でしょうか？でも、意外と注文しないんですよね。なんでだろう？

